

議会だより うけん

No.174
令和6年12月発行
鹿児島県宇検村議会



～ 集落写真シリーズ 第1弾・名柄集落 ～



— Contents —

- 新体制・議員紹介 — 2 P
- 第3回定例会 一般質問 — 3 ～ 9 P
- 令和5年度 決算審査特別委員会 — 10 P
- 第1回臨時会・第3回定例会 可決された案件 & 現地調査 — 11 P
- その他 — 12 P

宇検村議会新体制とこのいました!!

任期満了に伴い宇検村議会議員の改選があり、新議員が決まりました。令和6年9月17日に初議会（臨時会）が開催され、新体制がスタートしました。議員任期は、令和6年9月14日から令和10年9月13日までです。



第33代 議長

キジマ タカユキ
喜島 孝行 (73歳)

5回・湯湾・総務文教常任委員
趣味：カラオケ

就任のあいさつ

このたびの議員改選に伴い、議会議長に選任賜り、限りなく光栄に感じますと共に、その責任の重さをひしひしと感じております。

活力ある、また魅力ある村づくりを進めていくことが村民皆様の願いとしつかり受け止め、その負託に応えるべく円滑な議会運営を進めていく所存であります。

村民の皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

議会構成 決定!!



※年齢は11月末時点



副議長

ヒゴ ミツヒロ
肥後 充浩 (69歳)

3回・湯湾・建設経済常任委員
趣味：スポーツ観戦

～ 総務文教常任委員会 ～



◎委員長

ジュヤマ シンタロウ
壽山 新太郎 (48歳)
2回・芦検
趣味：釣り



副委員長

クラモト トミオ
倉本 富夫 (46歳)
2回・名柄
趣味：ゲーム



委員

ヨシナガ ツネアキ
吉永 常明 (70歳)
5回・屋鈍
趣味：釣り

～ 建設経済常任委員会 ～



◎委員長

ウナバラ タカヤ
海原 隆家 (68歳)
3回・田検
趣味：家庭菜園



副委員長

スギウラ ハルトシ
杉浦 治俊 (73歳)
4回・湯湾
趣味：スポーツ観戦



委員

カワカミ マリ
川上 真理 (58歳)
1回・名柄
趣味：家庭菜園

議会は、村の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。

○定員(26名)の範囲内で、どなたでも自由に傍聴できます。
○受付票に住所・氏名を記入していただくだけです。



一般質問？
えーっと....

一般質問

議員が、村長や執行部に行政の執行状況、課題、今後の方針などを質問する場であり、**住民の声を届ける重要な機会**です。質問のみならず、意見を伝えることもできます。

枝

手久島への
メヒルギ植栽事業は
見直しを

7 P

川上 真理(カワカミマリ) 議員



台

風 13 号による
被害状況は

4 P

吉永 常明(ヨシナガツネアキ) 議員



携

帯電話
送受信施設は

8 P

肥後 充浩(ヒゴミツヒロ) 議員



水

道料金事務処理問題を
踏まえた当局の対応は

5 P

壽山 新太郎(ジュヤマシンタロウ) 議員



昨

年度の災害復旧工事の
進捗状況は

9 P

海原 隆家(ウナバラタカヤ) 議員



教

員住宅の
使用状況は

6 P

倉本 富夫(クラモトミオ) 議員



台風13号による被害状況は ／家屋16戸に被害



初キ 議 員
シカ 吉 永

(吉永) 台風13号による家屋、農作物、道路等の被害状況と対応について伺う。

(村長) 家屋は16戸に被害があり、内訳は住家が12戸、非住家が4戸、損壊状況は半壊1戸、一部破損が15戸。農作物の被害はサトウキビの倒れや柑橘類の倒木が見られたが数量に大きく影響する被害はない。道路等は県道湯湾新村線でがけ崩れ2件、部連須古線、石良油井線でがけ崩れがあり、現在は通行可能。

(吉永) 7月に実施された防災訓練の放送の呼びかけについて伺う。

(村長) 警戒発表から注意喚起放送、高齢者等避難、避難指示、避難指示解除まで約30分の間に行ったが、ど

のような行動をとればよいか戸惑ったと思う。今回は警戒レベルと避難行動の内容を機会あることに周知するように努めていく。

(吉永) 家屋被害に対しての見舞金制度はあるか。

(総務課) 社会福祉協議会より見舞金が支給される。村からは半壊以上の家屋も規定により見舞金の対象となる。

道路交通

(吉永) 県道名瀬瀬戸内線名柄久慈間、村道湯湾大柵線の現状と今後について伺う。

(村長) 名柄久慈線については、4ヶ所のボーリング調査を終え、観測を行っている。今後、地滑りによる変状が確認され次第、災害復旧工事を予定している。村道湯湾大柵線については、国土交通省と復旧工法の事前協議を実施している段階である。

(吉永) 村道宇検船越線、屋鈍曾津高崎線の発注について伺う。

(村長) 村道曾津高崎線は9月に4

工区に分けて915mを発注済み。村道宇検船越線は今月から12月まで4工区に分けて発注予定である。

(吉永) 県道屋鈍曾津高崎線、佐念からタエン浜間の道路脇の街路樹伐採について伺う。

(村長) 道路維持補修管理業務委託で伐採している。

助成金について

(吉永) 台風13号の影響により豊年祭が中止となった4集落について、助成する考えはないか。

(村長) 集落運営にどれだけ影響するか話を伺っていきたい。

マイナンバーカード

(吉永) 現行の保険証が12月からマイナ保険証に移行予定であるが、本の普及率と対応を伺う。

(村長) マイナンバーカード未発行者や保険証と未連携の方には、資格確認証を発行する予定。普及率は令和6年8月末で92.0%である。

(吉永) マイナンバーカードを持っている方は12月までに保険証になる

手続きをするのか。

(保福課) マイナポータルサイトというものがあり、住民税務課の窓口で設定できるよう準備をしている。

(吉永) 住民への告知は。

(保福課) 7月末の保険証切り替え時にパンフレットを作成し、制度説明をしている。

学校の運動会

(吉永) 村内小中学校の運動会が去年より午前中開催となったのはなぜか。

(教育長) 新型コロナウイルス感染以降、新しい生活様式が推奨され、また、熱中症等の安全面を考慮したこと、児童生徒、保護者、先生達の負担軽減のためと思われる。

(吉永) 子どもたち中心の運動会であるが、地域との繋がりが離れていくような気がする。地域等の意見も聞いて判断してもいいのではないか。

(教育長) 今回のことを踏まえ、話し合いをしていきたい。

水道料金事務処理問題を
踏まえた当局の対応は
チェック体制を徹底していく



ジュマ シンタロウ
寿山 新太郎 議員

(寿山) 村民の方からの相談で、水道料金の過剰請求が送付されてきたとの事であるが、事実か伺う。

(村長) ご指摘のように、これまで検針データの入力ミスや確認不足等により過剰に請求した事例があった。

(寿山) 過去にもそういった過剰請求の話村民から聞いているが、担当課の事務処理等に問題はないのか。

(村長) 今後は、検針データ入力時や、納付書印刷時の二重チェック体制を徹底していく。

(寿山) とんでもない額の水道料金だが、会計上問題はないのか。

(建設課) 問題があるものと認識し

ている。

(寿山) 体制整備やガバナンスが機能しているとは思えないが、今後の対策・対応は。

(村長) この案件も含め、庁舎内ですっかり対策・対応について協議していく。

被害調査の対応強化を!!

(寿山) 一部の農家の方から、役場職員が被害調査に来ないとの苦情があるが、村内農家の実態把握はしているのか。

(産振課) 現在、地域計画を作成中であり、農業委員会と連携して実態把握に努めていく。

(寿山) 村道湯湾大棚線の崩土による、湯湾鯨戸地区の住民の方々への対策強化・支援策を講じるべきではないか。

(総務課) とにかく避難の呼びかけを徹底している。防災無線等の他、直接避難を呼びかけるなどの対応を強化していく。

(寿山) 宇検消防分駐所の発電機は容量が小さく、停電が長期化すると

救急業務やその他業務に支障をきたすことが懸念されるが。

(総務課) 発電機の老朽化で長時間の停電に対し、負荷がかかり影響が出てくることが懸念される。今後は、元気の出る館全体で発電機対策を進めていかなければならないと思っている。

(寿山) 防災の営農対策について、各集落の水源地を一本化できるよう中山間総合事業で計画するとあったが、現在の検討結果、進捗状況を伺う。

(村長) 水源地を一本化することにより、農家や水土里サークル活動による管理を簡素化できるよう、実施に向けて取り組んでいるところである。

(寿山) 芦検集落の各水源地については、大雨が降るたびに、土砂撤去等の作業が発生し、農作業に支障をきたしていることから、早急に水源地の一本化を進めて頂きたい。

(要望)



【写真】芦検集落・板子久地区
水源地の土砂撤去作業

高齢者・介護者の福祉支援強化を

(寿山) 今後、高齢化率が50%を超えてくることが予測され、高齢者の免許返納者の増加により、電動車(シニアカー)の普及も増えてくると予測されるが、村としての対策を伺う。

(保福課) 今後は、車椅子やシニアカー等の利用者がかなり増えてくることから、現在作成中の地域福祉計画の中でも議論を深め、課題として協議していく。

教員住宅の使用状況は

／入居率は87.5%



クニタダ 倉本 議員

（倉本） 宇検村内の教員住宅使用状況はどうなっているのか。

（村長） 田検校区13戸、久志校区6戸、阿室校区8戸、名柄校区10戸の計37戸のうち入居可能な教員住宅は32戸。年度当初の使用状況は田検校区全戸、久志校区全戸、阿室校区7戸、名柄校区5戸となっている。なお昨年の豪雨災害で自宅を失った方、民間でなかなか家を借りられない方2名も入居している。

（倉本） 教員住宅を借りる際の内見時に匂いがあり、入居を見送ったという話を聞いたが定期的にハウスクリーニングを行っているのか。

（教育委員会） 入居が決まった段階でハウスクリーニングを入れたり細

かい補修を行っている。

（倉本） 空いている部屋に関して定期的に検査などはしているのか。

（教育委員会） 定期的には行っており、連絡がきたときに対応している。補修に関しても予算が伴うので財産管理費の中の修繕費等、予算を精査しながら計上していきたいと考えている。



【写真】 名柄校区の教員住宅

チップ工場の

使用状況及び今後の対応は

（倉本） チップ工場の現状は。

（村長） 小部連の旧チップ工場跡地は奄美大島森林組合の製材所及び島

納開発によるバーク生産と原木のストックヤードとして使用している。

（倉本） バークの生産状況は。

（産振課） 公社が購入しているバーク木くず量は6年度8月末時点で丸平産業214t、奄美新興産業70t、島納開発15tとなっている。

（倉本） 島納開発は月60tの契約をしたと思うが。

（産振課） 令和4年、5年度の当初では月60tをお願いしていた。生産される月がないため、今年3月に最低でも月20tは作ってもらうよう要請している。

（倉本） 再三話し合いをしているのに改善されない。今後どう考えているのか。

（産振課） 県が中に入り今年2月に協議をおこなった。県としても奄美大島の林業を担っているのが島納開発、森林組合であり、奄美大島の林業を衰退させないためにもできるだけ続けてもらいたい旨を伝え、4月から契約を結んだ。

（倉本） 購入して堆肥の生産量は維持できているが、コストを含め考え

ると大型粉碎機購入も視野に入れる必要があると思うが。

（産振課） 村としてもバーク購入、運搬、粉碎機購入の初期投資、維持管理といったコストを慎重に協議し検討していきたい。また、議員の方を含め宇検村大型機械運営協議会でも購入に関して慎重に進めていきたい。



【写真】 バークのストックヤード（湯湾干拓地）

【その他】

・防災について

枝手久島へのメヒルギ
植栽事業は見直しを
／村民と共有しながら推進



加川上 真理 議員

（川上） 宇検村が目指すゼロカーボンシティの取り組みのひとつとして、枝手久島へのメヒルギ植栽事業の全体計画について伺う。

（村長） 令和5年度から5ヶ年計画で1万5000本のメヒルギを植栽し、CO2の吸収量の0.05千t、2030年までに吸収量0.06千tを目指す。

（川上） 枝手久島へのメヒルギ植栽事業について、地権者や漁業関係者を含めた村民に対し、十分な説明と理解が得られているか。

（村長） 植栽を行っている土地は個人所有の土地であり快諾いただいている。メヒルギ植栽事業は、第6次宇検村総合振興計画の3つの重点プ

ロジェクトのひとつで、令和4年度に一年かけて協議した村民総意の計画であり、理解を頂いていると認識している。

（川上） 令和6年3月の定例会以前の村長の施政方針では、枝手久島への植栽と移植については述べられていないが、令和5年9月の産学官連携協定を結んだ際のプレスリリースには、マングローブを植林する枝手久島と出ている。この姿勢こそが住民軽視、議会軽視だと思うが。

（村長） 令和6年3月の施政方針の以前にもしっかり説明している。その間、枝手久島の調査など進めている段階で、プレスリリースはそのようになっていると思う。

（川上） この事業については、いったん立ち止まり、見直しを図ることも含めて住民への十分な説明と意向調査を行う必要があると思うが。

（村長） 宇検村総合振興計画の重点プロジェクトとして環境創出の理念を持って取り組んでいる。趣旨や内容を村民と共有しながら推進していく。



【写真】 枝手久島・イヒヤドリ



【写真】 イヒヤドリに植栽されたメヒルギ

地域防災

（川上） 停電が長期化する場合、健康被害（熱中症対策等）を考慮した

避難所開設の検討を行うべきと思うが。

（村長） 発電機のある公民館を利用することで夜間の不安、携帯電話等の電力供給、暑さをしのぐ場となることが必要。

（川上） ゼロカーボンシティを目指すのであれば各集落の避難所に、蓄電を備えたソーラーパネルを設置してはどうか。それが再生可能エネルギーでの地産地消を実現していくことになるのでは。

（企観課） 新しい施設を建設する際は、再生可能エネルギー・省エネの建物づくりは必須。それらも視野に入れながら提案していきたい。

（川上） 各集落で40年以上経過している公民館が5施設ある。防災会館への建て替え、改修等の中・長期的な計画について伺う。

（村長） 令和8年度から須古集落。それ以降、劣化度診断をもとに順次建て替えをしていく。

携帯電話送受信施設は
完成時期は、ずれ込む予定



肥後 充浩 議員

(肥後) 赤土山の送受信施設は、2月末完成と答弁であったが、2月に完成するのか。

(村長) 候補地が決定していないので完成時期は、ずれ込む予定。

(肥後) 契約は締結しているとあるが、どのような内容の契約か。

(総務課) 候補地の選定場所において、環境省との協議を行っている。

場所の変更があれば、変更契約を行いたい。

(肥後) 契約金額は。

(総務課) 1億1700万円を予定している。(総事業費)

(肥後) 環境省との協議はスムーズに行われているか。また、今年度中に完成はするのか。

(総務課) 環境省とは様々なやりとりを行っている。いまは、環境省の回答待ちの状況であり、完成は難しい。

防災について

(肥後) 13号、14号の被害状況は。

(村長) 13号の被害は、住家12戸、非住家4戸あり。農作物では、収穫に影響する被害は無い。また、14号

での被害は無し。

(肥後) 台風時の避難場所への情報提供はどの様に行っているか。

(村長) 防災無線において、2日前から早めの避難を呼びかけた。

(肥後) 避難をしている方々への情報提供は、防災無線だけでなく、テレビ等も必要ではないか。

(総務課) 各集落にテレビはあると思うが、区長会を通じて状況の確認を行い対応したい。また、発電施設

に対しても支援をしていきたい。

(肥後) 停電の大まかな復旧の判断の情報は聞けないのか。

(総務課) 逐次、九電から情報提供をもらい対応して行きたい。

(肥後) 廃屋からの飛来等被害の報告は無かったか。また、崩壊寸前の廃屋対策は出来ないか。

(企観課) 今回飛来等の被害は無い。

廃屋については、住民からも相談はあり、今後対策を講じなければならない。検討をしている段階になっている。



【写真】台風13号により被災した家屋
(佐念集落)

農業振興について

(肥後) 堆肥の原料補足材としても使える粉碎機の購入は検討出来ないか。

(村長) 大型機械運営協議会にて協

議を検討していきたい。

(肥後) 来年度から生勝のパッション苗組合が生産しないと聞いているが。

(産振課) 生勝生産組合の方が継続して生産すると聞いている。



コロナワクチン接種

(肥後) 看護師、保健師、救急隊員などへのワクチン接種の補助は出来ないのか。

(保福課) 現段階では助成は検討していない。

(肥後) 患者に一番接する方々には、来年度でも予算措置が出来ないか。

(保福課) 今年度の実績を踏まえて検討する。

【その他】

・今年度の工事予算の発注状況は。

昨年度の災害復旧工事の 進捗状況は ／年度内に完了



ハバ 海原 功 隆 家 議員

(海原) 台風10号、13号、14号における、村内の被災状況及びその対応について伺う。

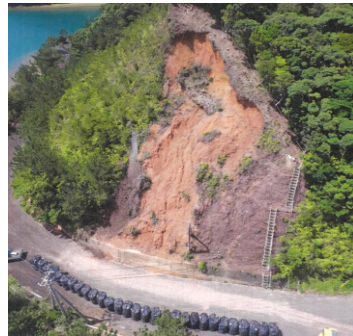
(村長) 台風10号における被害状況は、一部破損5戸。台風13号における被害状況は、半壊1戸、一部損壊15戸。農作物の被害については、収量に大きく影響する被害はない。道路等については、がけ崩れが2件発生したが、現在は通行可能。

(海原) 昨年度の災害復旧工事の進捗は。

(村長) 令和5年度に被災し、災害復旧工事を行っている箇所は、県管理分、道路9カ所のうち完了3ヶ所、河川4ヶ所は現在工事中。村管理分、道路10カ所のうち完了2ヶ所、河川

5カ所のうち完了1ヶ所。未完了箇所についても、年度内に完了予定。
(海原) 村道湯湾大榎線、宇検船越線の調査結果は。

(村長) 地滑り観測調査を実施してきたが、学識者等との協議の結果、地滑りであると判断され、現在、国土交通省と復旧工法の事前協議をしている段階。復旧工事が決定した段階で、災害査定を受検する予定。



【写真】 令和5年度に被災し災害復旧工事を行った村道先当間線（芦検地内）

空家対策について

(海原) 村内の空家廃屋対策について取り組みは。

(村長) 令和3年2月に各集落の空家所有者等にアンケートを実施。その結果をもとに、同年10月に「宇検村危険廃屋解体撤去補助金交付要綱」を制定し、活用可能と判断される空家においては、「定住促進空き家活用事業」による回収を進めており、昨年度、事業を活用し改修した物件は3件。解体撤去補助を活用した物件は3件であり、当初の計画通り事業を実施している。しかし、現在の事業だけでは解決できない課題や、問題もあるので、今後さらなる施策を検討しながら、取り組んでいく。

(海原) 当初の計画では現状に廃屋の解体には追いつかないのでは。

(企観課) 現在、各自治体においてそれぞれの物件に問題を抱えているのが現状であり、その案件について、国・県等を通じ様々な施策を検討しながら、村としてできる範囲の施策

を検討していきたい。

田検集落内の村道の 側溝のふたについて

(海原) 集落内の村道における側溝のふたの破損による騒音について。

(村長) 村内全集落で、車両が側溝のふたの上を走行しなければならぬ状況であると推測されるが、構造上問題は無い。しかし、異常な騒音や危険箇所と判断される場合には、取り替えや補修が必要と思われるので、担当課への報告、相談をお願いしたい。



【写真】 田検集落内の村道の側溝のふた

令和5年度

決算

10月3日（木）～4日（金）の2日間にわたり、令和5年度宇検村一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の状況について、決算審査特別委員会が開かれました。

令和5年度 一般会計 決算額



歳入 3,937,441千円

前年度比 5.7%増

歳出 3,397,634千円

前年度比 4.4%減

① 主な歳入 (単位：千円)

地方交付税	2,048,104
国庫支出金	549,002
繰入金	327,694
村債	302,667
繰越金	171,927
県支出金	209,168
村税	138,193
その他合計	190,686
歳入合計	3,937,441

② 主な歳出 (単位：千円)

総務費	680,324
公債費	479,664
民生費	465,015
土木費	421,244
農林水産業費	373,726
教育費	279,153
衛生費	243,358
その他合計	455,150
歳出合計	3,397,634



決算審査特別委員会 ～ 主な意見・質疑 ～



- ・村税、各種使用料の滞納対策について、ほかの課と連携して情報を共有し、一般会計、各特別会計においても、全庁で徴収対策に取り組んでもらいたい。
- ・鳥獣被害については、イノシシ被害のみならず、カラス・ネズミ被害対策にも力を入れてもらいたい。
- ・時代に応じた、単身者専用の住宅の建築はできないか。
- ・県道、村道等へのカーブミラーの設置を望む。
- ・各種検診、人間ドックへの助成制度等の周知を徹底してほしい。
- ・特定健診及び結果報告会を集落単位での開催を望む。
- ・会計年度任用職員の雇用人数は妥当か。
- ・公用車の保有台数は妥当か。効率的な活用方法はないのか。
- ・使用料請求については、チェック体制を強化し、適正な事務処理を望む。
- ・集落排水事業において、宇検中央処理場と田検処理場統合の早期実現を望む。
- ・制度改正に伴う条例の改正を迅速に行ってもらいたい。



第1回 臨時会

(9 月 17 日)

可決された

案件

【人事】

- ・ 宇検村監査委員会委員の選任について

倉本 富夫 氏 (名柄) 同意



第3回 定例会

(10 月 1 日 ~ 10 月 9 日)

【条例】

- ・ 宇検村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- ・ 宇検村ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について
- ・ 宇検村堆肥センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について



【補正】

- ・ 一般会計補正予算
- ・ 国保事業特別会計補正予算
- ・ 国保施設事業特別会計補正予算
- ・ 介護保険事業特別会計補正予算
- ・ 後期高齢者医療事業特別会計補正予算
- ・ 簡易水道事業会計補正予算
- ・ 集落排水事業会計補正予算

【その他】

- ・ 工事請負について

現地調査

10月8日 (火)

須古集落、名柄集落の河川土砂の現状確認へ。全国的に猛烈な雨に見舞われる近年。須古集落河川では壁面側の陥没、名柄集落では水深が浅く川幅が狭い河

川が多いため、土砂が溜りやすい現状となっています。



▲須古集落 河川▼



▲名柄集落 河川▼



関東宇検村会 100 周年記念 総会

先人たちの想い繋ぎ
100 年の笑顔
東京で咲く



11 月 10 日（日）関東宇検村会 100 周年を
記念した総会が東京都品川区「きゅりあん」にて
開催され、宇検村議会議員全員で出席いたしました。

来村

～ 南大隅町議会 教育産業常任委員会 ご一行様 ～



2024 年宇検村は鹿児島県内唯一、「自立持続可能性自治体」として話題
にあがりました。その件もあり、10 月に南大隅町議会教育産業常任委員
会の皆様が所管事務調査先として宇検村へ来村。村教育委員会が山村留
学や活性化委員会の現状を説明しました。



いつも議会だよりを読んでもくださり、ありがとうございます。
改選に伴い、今号の発行時期が遅れました。ご理解のほどよろしくお願
いします。

編集後記

「冬野菜が大きくなならない。」「また虫
にやられた。」

師走を前に毎日のように聞こえる会話で
す。

近年、気候変動による気温の上昇など
で、野菜の生育不良や品質低下が叫ば
れていますが、小さな家庭菜園でもそれ
を実感する日々です。

地球温暖化の影響によって、台風は強
大化し、集中豪雨も頻発しています。目
の前に迫る危機に対し、自分事として捉
え、温暖化の原因である CO2 の排出量を
減らしていく必要があります。

いま宇検村は、ゼロカーボンシティの実
現を目指しています。私たちの未来が、
どういう姿であるべきか、村民全体で考
えていきませんか。

川上 真理

【発行責任者】

議長 喜島 孝行

【議会だより編集委員会】

委員長 壽山 新太郎
委員 倉本 富夫
委員 川上 真理